

法政大学リカレント教育オフィス主催公開講座

法政大学大学院連帯社会インスティテュート提供

本インスティテュートは、日本労働組合総連合会、教育文化協会と本学とが連携して設置する日本初の教育プログラムです。

民主的な経済は可能か？ ー 協同組合の挑戦 ー

生協、JA（農協）、信用金庫・信用組合、共済など、協同組合は日本社会において様々な領域で人びとの暮らしを支えているが、協同組合がどのような時代背景の下で生まれ、何をめざすものであるのか、あまり知られていない。今回の90分を通して、ともに支え合う「共助」を基盤とする協同組合の理念とこれからの可能性について、民主主義や公共性との関係から考える。



講師

いたみ けんたろう
伊丹 謙太郎 教授

法政大学大学院連帯社会インスティテュート（大学院公共政策研究科）教授。専門は公共哲学、社会思想史・運動史。東京工業大学大学院社会理工学研究科博士課程単位認定退学。千葉大学医学部、人文公共学府等を経て2020年4月より法政大学に勤務、協同組合プログラムを担当。日本協同組合学会副会長、鳴門市立賀川豊彦記念館・賀川豊彦学校長ほかを兼務。主たる研究テーマとして、賀川豊彦を軸に戦間期日本の協同組合運動の展開史のほか、社会的連帯経済や非営利組織間連携、プラットフォーム資本主義などの領域で研究。主な著作に“Decent Work and the Social and Solidarity Economy (SSE) in Japan: Twelve dialogues” (2025, ILO Geneva) がある。

2026年10月3日(土) 10:00 ~ 11:30

お申込み
定員 150名
先着順

9/28(月)までに下記URL
<https://forms.gle/ZinC8kTQtp1S5J8FA>
またはQRコードに アクセスしお申込みください。》

